



平成29年12月15日  
四国地方整備局 四国技術事務所

## 災害に備え遠隔操作訓練を実施

～熊本地震でもラジコン式バックホウが活躍

四国技術事務所では、危険な災害現場に投入可能な『ラジコン式バックホウ』を2台保有しています。

この機械を使用して、遠方の安全な場所から土砂を撤去する訓練を行います。

日 時：平成29年12月20日（水） 8：50～12：00  
13：15～16：25  
12月21日（木） 8：50～12：00  
13：15～16：25

場 所：国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所内  
（香川県高松市牟礼町牟礼1545）

訓練対象者：香川・徳島県内の事務所と防災協定等を結んでいる  
建設会社等のオペレータ、整備局職員（全30人程度）

この訓練は、半日単位で、午前中2班、午後2班の班編制で実施します。（3～4人/班）

**12月20日の午前中は、実現場での災害復旧作業を想定し、今回初めてカメラ画像のみを使った遠隔操縦の訓練を実施します。**

※ バックホウは油圧ショベルとも言われている建設機械です。このラジコン式バックホウであれば、二次災害の発生が予想される危険な災害現場でも、オペレータが機械本体から最大150m程度離れた安全な場所から無線操縦できます。

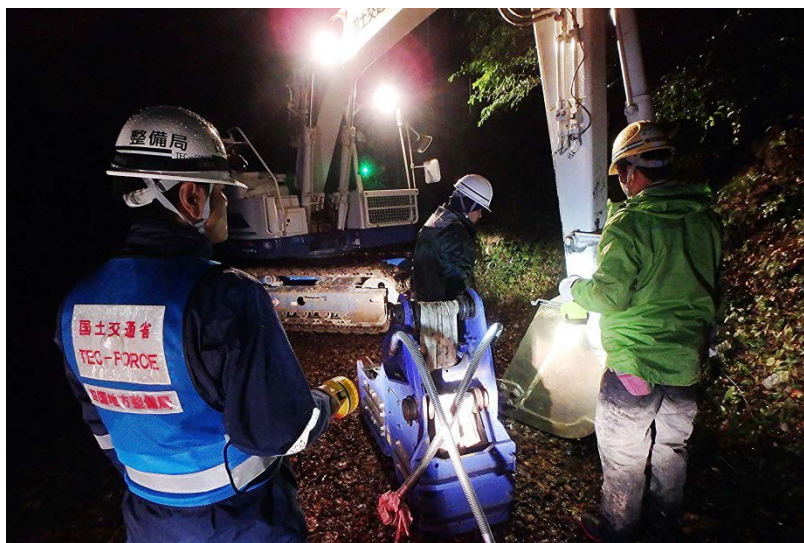
本施策は、四国圏広域地方計画「№1防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

問い合わせ先：

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所  
副所長 二川義人（内線204）  
施工調査・技術活用課長 渡部 勇（内線381）  
TEL（087）845-3135（代表）

# 愛媛県西条市県道12号崩落現場におけるラジコン式バックホウ派遣状況

## ■(応急対策班:四国技術事務所)の活動状況 (H29. 11. 22~23)



落石小割作業用ブレイカーの装着



遠隔操縦油圧ショベルによる作業状況



二次災害を防止する遠隔操縦での復旧作業

# 災害現場におけるラジコン式バックホウの活躍 (H28 熊本地震災害復旧現場(熊本県阿蘇郡南阿蘇村))



目視による  
ラジコン操作

モニターによる  
ラジコン操作

平成28年4月14日発生地震による、国道上への法面崩落土砂の撤去作業を、安全と思われる場所からラジコン操作にて、作業を実施しました。

5月・6月 梅雨の長雨と阿蘇特有の“黒ボク”との戦い！



▲霧による視界不良



▲降雨により泥濘化

▲足場が悪く重機が沈み込む



▲土砂を改良しながら施工

7月・8月 待ちに待った梅雨明け 晴天が続き工事も順調で、土留盛土の上段が完成



▲天候に恵まれ作業も順調



▲無人化機械もフル稼働！



▲8月末、土留盛土の上段が完成

9月・10月 土留盛土(上段)が完成し、頭部の不安定土砂の除去(ラウンディング)に着手



▲斜面頭部では3台の高所法面掘削機が稼働中



▲急斜面でもワイヤー吊りで大丈夫

無人化の操作は1km離れた安全な場所で



▲遠隔操作で14台の無人化機械が稼働



斜面上部で働く機械はヘリコプターで空輸



▲分解した重機をヘリで空輸し、頭部で組立



国土交通省 九州地方整備局  
熊本地震災害対策推進室 熊本分室

〒861-8029 熊本市東区西原1丁目12番1号  
〔熊本河川国道事務所内〕

TEL 096(382)1397 FAX 096(382)1398